

【記者レク資料用：総括 大阪・関西万博の経済波及効果】

大阪・関西万博の経済波及効果の検証

-一般財団法人関西観光本部との共同プロジェクト調査の結果を用いて-

概要

2025年12月3日(水)

13：30～14：30

@大阪商工会議所 4F 401号会議室

APIR 研究統括/数量経済分析センター長 稲田 義久

APIR副主任研究員 野村 亮輔

APIR関西地域間産業連関表プロジェクトチーム

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について
2. 消費単価について
3. 発生需要について
4. 発生需要の変換：府県ベース
5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

はじめに 試算の考え方

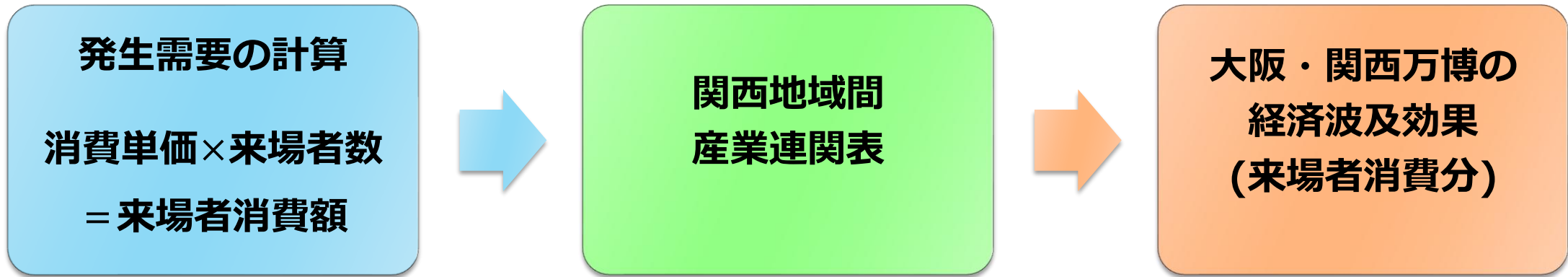
1. 来場者数について
2. 消費単価について
3. 発生需要について
4. 発生需要の変換：府県ベース
5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

大阪・関西万博の経済波及効果試算の手順

大阪・関西万博の経済波及効果試算の手順



出所：筆者作成

前回の試算：

消費単価：2023年1-9月期『旅行・観光消費動向調査』、『訪日外国人消費動向調査』

来場者数：日本国際博覧会協会(2022)資料より

今回の検証：

消費単価：関西観光本部との共同アンケート調査より

来場者数：実績(日本国際博覧会協会)

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について

2. 消費単価について

3. 発生需要について

4. 発生需要の変換：府県ベース

5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

1. 来場者数について

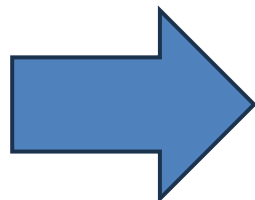
想定来場者数と実績

- 万博協会資料によれば、想定来場者数は国内客2,470万人(近畿圏内：1,559万人、近畿圏外：911万人)、海外客350万人、計2,820万人
- 実績は総来場者数2,902万人、うち一般来場者数2,558万人、関係者数344万人
- 一般来場者数は想定来場者数を幾分下回った

想定来場者数

単位：万人

国内客	2,470
近畿圏内	1,559
近畿圏外	911
海外客	350
総数	2,820



来場者数実績

単位：万人

一般来場者数	2,558
関係者数	344
総来場者数	2,902

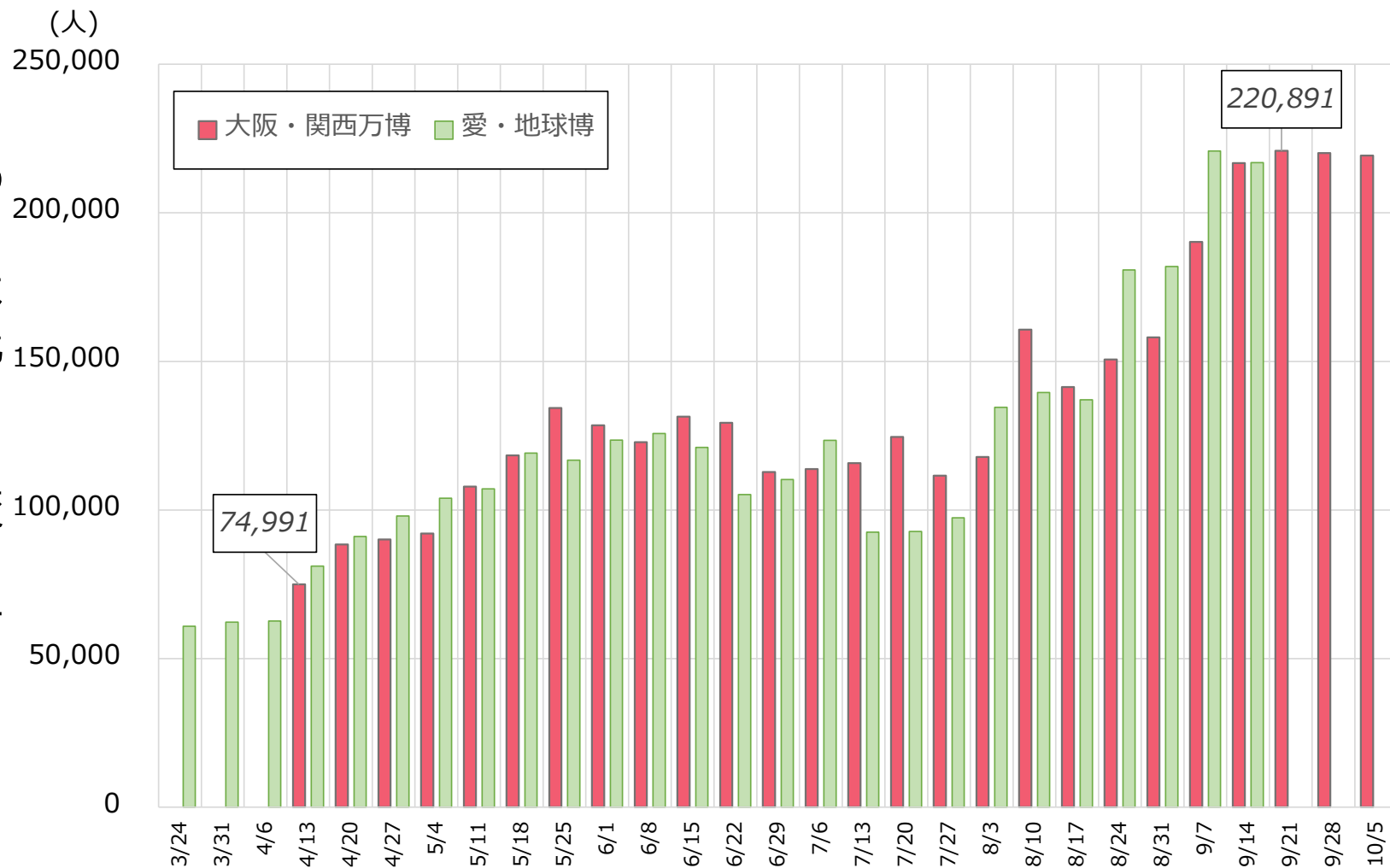
出所：日本国際博覧会協会(2022)『大阪・関西万博 来場者輸送具体方針（アクションプラン）第3版』より筆者作成

出所：日本国際博覧会協会HP「来場者数と入場チケット販売数について」より筆者作成

1. 来場者数について

参考図：愛・地球博と大阪・関西万博来場者比較：週次ベース

- 週ごとの1日当たり来場者数の動向を見れば、
- 大阪・関西万博の来場者数は**前半**は愛・地球博と同様に低調な出足
- 5月以降、増加ペース加速
- **夏場**は猛暑にも関わらず比較的好調
- **終盤**にかけては、予約システムの制約もあり、伸び悩む



出所：日本国際博覧会協会HP「来場者数と入場チケット販売数について」及び愛・地球博HPより筆者作成

1. 来場者数について

府県別来場者数及び海外客の推計

- **海外客数の推計**：一般来場者総数のうち、万博協会資料を基に**ID所持者**と**ID非所持者**を推計。**ID所持者**については**6.1%**、**ID非所持者**については**25.0%**と想定
- **国内客数の推計**：一般来場者総数(2,558万人)と上記で求めた**海外客数(283万人)**の差分を算出し、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2025)のレポートで示されている人口あたり来場者数を参考に、2024年人口推計データを用いて推計
- **想定来場者数と実績の比較**
 - 関西2府4県：1,559万人 < 1,642万人
 - 関西外：911万人 > 633万人
 - 外国人：350万人 > 283万人

居住府県	1万人当たり 来場者数	2024年人口推計 単位：人	配分比率	府県別来場者数	来場地域割合
				25,578,986	100.0
福井県	992	766,863	0.3%	68,844	0.3
三重県	1,396	1,770,254	1.0%	224,309	0.9
滋賀県	3,026	1,413,610	1.8%	398,408	1.6
京都府	4,606	2,578,087	4.8%	1,090,022	4.3
大阪府	13,235	8,837,685	47.8%	10,884,044	42.6
兵庫県	6,025	5,465,002	13.3%	3,019,710	11.8
奈良県	6,621	1,324,473	3.5%	798,983	3.1
和歌山県	2,749	922,584	1.0%	227,179	0.9
鳥取県	691	553,407	0.2%	34,457	0.1
徳島県	1,291	719,559	0.4%	83,048	0.3
その他	631	101,794,575	26.0%	5,923,043	23.2
全国		126,146,099	100.0%	22,752,048	88.9
海外				2,826,938	11.1
関西2府8県		24,351,524		16,829,005	65.8
関西2府4県		20,541,441		16,418,347	64.2

出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2025)「2025 年大阪・関西万博の来場者（国内居住・一般来場者）分析～携帯電話位置情報データによる分析～」、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会(2025)を参考に筆者作成

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について

2. 消費単価について

3. 発生需要について

4. 発生需要の変換：府県ベース

5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

アンケートによる消費単価の推定(前半と後半)

- **会場内**(買物代、飲食費)と**会場外**(買物代、飲食費、娯楽サービス費、交通費、宿泊費)で**消費が発生**
- **買物代、飲食費、娯楽サービス費と宿泊費**は**アンケート調査**(詳細についてはAppendix p.32参照)より計算。交通費は別途推計
- **外国人の宿泊費**については1人1泊当たりの単価に関西における平均泊数(アンケート調査結果より前半は6泊、後半は7.8泊分)を乗じて計算
- **1人当たり平均単価**をみれば、
- 前半では日本人のうち、**大阪在住者**は8,591円、**大阪以外の関西在住者**は1万5,504円、**関西以外在住者**は6万19円、また**外国人**は13万4,204円
- 後半では日本人のうち、大阪在住者は1万7,440円、大阪以外の関西在住者は2万3,073円、関西以外在住者は5万8,095円、また外国人は16万1,744円
- **後半の単価**は、**前半に比して総じて増加しているが、特に会場内の買物代は急増**

消費単価：前半(4/13~7/31)

単位：円

	会場内		会場外					合計
	買物代	飲食費	買物代	飲食費	娯楽サービス費	交通費	宿泊費	
日本人：関西(大阪府在住者)	1,073	2,022	1,126	1,114	1,250	1,721	284	8,591
日本人：関西(大阪以外在住者)	1,477	2,088	1,258	905	1,889	2,788	5,100	15,504
日本人：関西以外在住者	2,905	2,776	4,184	4,497	8,479	22,186	14,994	60,019
外国人	10,746	14,035	26,748	30,190	11,899	3,476	37,109	134,204
万博関係者	-	2,400				1,293	-	3,693

*平均6泊

出所：筆者作成

消費単価：後半(8/1~10/13)

単位：円

	会場内		会場外					合計
	買物代	飲食費	買物代	飲食費	娯楽サービス費	交通費	宿泊費	
日本人：関西(大阪府在住者)	4,357	2,840	2,561	2,421	3,101	1,721	438	17,440
日本人：関西(大阪以外在住者)	2,690	2,181	2,762	2,822	3,553	2,788	6,278	23,073
日本人：関西以外在住者	3,218	2,838	4,955	5,517	6,174	22,186	13,206	58,095
外国人	14,733	13,139	42,164	33,065	13,443	3,476	41,724	161,744
万博関係者	-	2,400				1,293	-	3,693

*平均7.8泊

出所：筆者作成

アンケート調査の詳細についてはAppendix p.31、32参照
交通費についてはAppendix p.33参照

アンケートによる消費単価の推定(通期)

- 一般来場者数のうち、前半48.3%、後半51.2%の比率を用いて、前半と後半の各費目の単価を**加重平均し、通期の単価を算出**
- 日本人：大阪府在住者は**1万3,162円**、大阪府以外の関西在住者は**1万9,414円**、関西以外在住者は**5万9,025円**
- 外国人：**14万8,430円**
- 関西以外在住者の消費支出は家族ベース(4人)では20万円を上回っている
⇒**所得制約下における、手ごろな海外旅行の実現**

【消費単価：通期(前半と後半の加重値)】

単位：円

	会場内		会場外					合計
	買物代	飲食費	買物代	飲食費	娯楽サービス費	交通費	宿泊費	
日本人：関西(大阪府在住者)	2,769	2,445	1,868	1,789	2,206	1,721	364	13,162
日本人：関西(大阪以外在住者)	2,103	2,136	2,035	1,895	2,749	2,788	5,708	19,414
日本人：関西以外在住者	3,067	2,808	4,582	5,024	7,288	22,186	14,071	59,025
外国人	12,805	13,572	34,711	31,675	12,696	3,476	39,493	148,430
万博関係者	-	2,400				1,293	-	3,693

出所：筆者作成

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について

2. 消費単価について

3. 発生需要について

4. 発生需要の変換：府県ベース

5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

発生需要：来場者消費

- 消費単価(通期)×来場者数＝来場者消費
- 日本人のうち、大阪府在住者は1,433億円、大阪府以外の関西在住者は1,154億円、関西以外在住者は3,496億円。海外客は4,196億円
- 一般来場者の消費は**1兆279億円**、関係者も含めた総消費は**1兆404億円**と推計
- なお、前回発表の発生需要の試算値は8,913億円

来場者消費：通期

単位：億円

費目	日本人			外国人	関係者	一般来場者計	総計
	大阪府 在住者	大阪府以外の 関西在住者	関西以外 在住者				
買物代	505	246	453	1,343	-	2,547	2,547
飲食費	461	240	464	1,279	82	2,443	2,525
娯楽サービス費	240	163	432	359	-	1,194	1,194
交通費	187	166	1,314	98	44	1,765	1,809
宿泊費	40	339	833	1,116	-	2,329	2,329
消費総計	1,433	1,154	3,496	4,196	126	10,279	10,404

出所：筆者作成

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について

2. 消費単価について

3. 発生需要について

4. 発生需要の変換：府県ベース

5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

4. 発生需要の変換：府県ベース

発生需要を府県別にみれば

- 推計した**居住者の項目別消費額**を、アンケート調査の結果を基に、**関西各府県に配分**(配分方法についてはp.17を参照)
- **外国人の項目別消費額**については、観光庁『インバウンド消費動向調査』の2025年4-6月期における各府県の費目別消費パターンで各府県に配分
- 以上から**各府県で発生した項目別消費額を推計**

【府県別項目別発生需要額：一般来場者+関係者】

単位：億円

	福井県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	その他地域	小計
買物代	10.8	21.4	7.8	278.4	1,992.0	90.9	20.4	3.2	1.7	0.9	119.5	2,547.0
飲食費	11.2	12.6	8.7	443.2	1,677.1	139.3	38.2	12.9	1.8	2.1	177.9	2,525.0
娯楽サービス費	14.1	13.7	3.3	126.2	661.3	113.5	14.9	12.6	0.1	0.3	234.2	1,194.1
交通費	1.1	3.3	5.9	52.6	1,025.1	45.8	12.7	4.0	0.5	1.3	657.0	1,809.4
宿泊費	13.0	16.5	40.1	473.5	1,355.3	117.1	41.1	13.9	2.4	1.8	254.1	2,328.8
総消費額	50.1	67.5	65.8	1,373.8	6,710.8	506.5	127.3	46.5	6.6	6.5	1,442.7	10,404.3

注：大阪府の消費額には関係者分を含む
出所：筆者作成

府県別発生需要：2024年推計と2025年推計の比較

- 基準ケース(2024年推計)と2025年推計を比較すると、**発生需要計は2025年推計の方が+1,492億円多い**
- 府県別に2025年推計と24年推計を比較すると、**大阪府の発生需要は-1,760億円低い。その他地域の発生需要は+1,228億円多い**
- この差はアンケート調査と観光庁の『旅行・観光消費動向調査』のデータの違いによる
- なお、本試算では、**関係者消費を大阪府に帰属した**

【地域別発生需要の比較：2024年推計と25年推計】

単位：億円

	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計	2025年推計- 基準ケース
福井県	10.5	184.9	50.1	40
三重県	12.3	344.9	67.5	55
滋賀県	23.8	240.6	65.8	42
京都府	33.0	1,430.7	1,373.8	1,341
大阪府	8,470.9	8,617.1	6,710.8	-1,760
兵庫県	104.2	757.3	506.5	402
奈良県	13.1	167.8	127.3	114
和歌山県	12.9	223.4	46.5	34
鳥取県	7.6	109.8	6.6	-1
徳島県	9.5	100.0	6.5	-3
その他	214.7	234.5	1,442.7	1,228
	8,912.6	12,411.1	10,404.3	1,492

注：ここでの拡張万博ケースはTrend Watch No.92で示した拡張万博ケース2*に相当する
なお、拡張万博ケース2では、基準ケースに比して国内宿泊客の泊数が1泊増加、海外客の泊数が2泊増加する。加えて、国内日帰り客が20%増加するケースである
出所：筆者作成

4. 発生需要の変換：府県ベース

【参考】府県別費目別発生需要

- 居住地域ベースに集計した消費額を配分マトリックスで需要地域へ配分する。まお、配分比率はアンケート調査から算出している

$$F''_{ij} = \begin{pmatrix} r^1_{11} & \cdots & r^{11}_{111} \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ r^1_{111} & \cdots & r^{11}_{1111} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} F'_{1j} \\ \vdots \\ F'_{11j} \end{pmatrix}$$

i : 2府8県及びその他地域(ただし、その他地域は日本国内に限る。)

j : 消費項目(買物代、飲食費、娯楽サービス費、宿泊費)

F' : 居住地域ベースの消費額

F'' : 需要地域ベースの消費額

F : 消費額

例えば、福井県($i=1$)の居住者が項目(j)の消費額を需要地域に分配する場合

$$F''_{1j} = \begin{pmatrix} r^1_{11} & \cdots & 0 \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ r^1_{111} & \cdots & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} F'_{1j} \\ \vdots \\ F'_{11j} \end{pmatrix}$$

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について

2. 消費単価について

3. 発生需要について

4. 発生需要の変換：府県ベース

5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

経済波及効果のまとめ：2024年推計と25年推計

■ 「基準ケース：2024年推計」

< 「2025年推計」

< 「拡張万博ケース：2024年推計」

■ 万博関連事業費

単位：億円

	各推計共通： 2024年推計
生産誘発額	14,102
粗付加価値誘発額	8,055
雇用者所得誘発額	4,632

■ 来場者消費

単位：億円

	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計
生産誘発額	13,355	19,565	16,439
粗付加価値誘発額	7,792	11,210	9,052
雇用者所得誘発額	3,726	5,410	4,186



■ 総効果(万博関連事業費+来場者消費)

単位：億円

	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計
生産誘発額	27,457	33,667	30,541
粗付加価値誘発額	15,847	19,265	17,107
雇用者所得誘発額	8,357	10,042	8,818

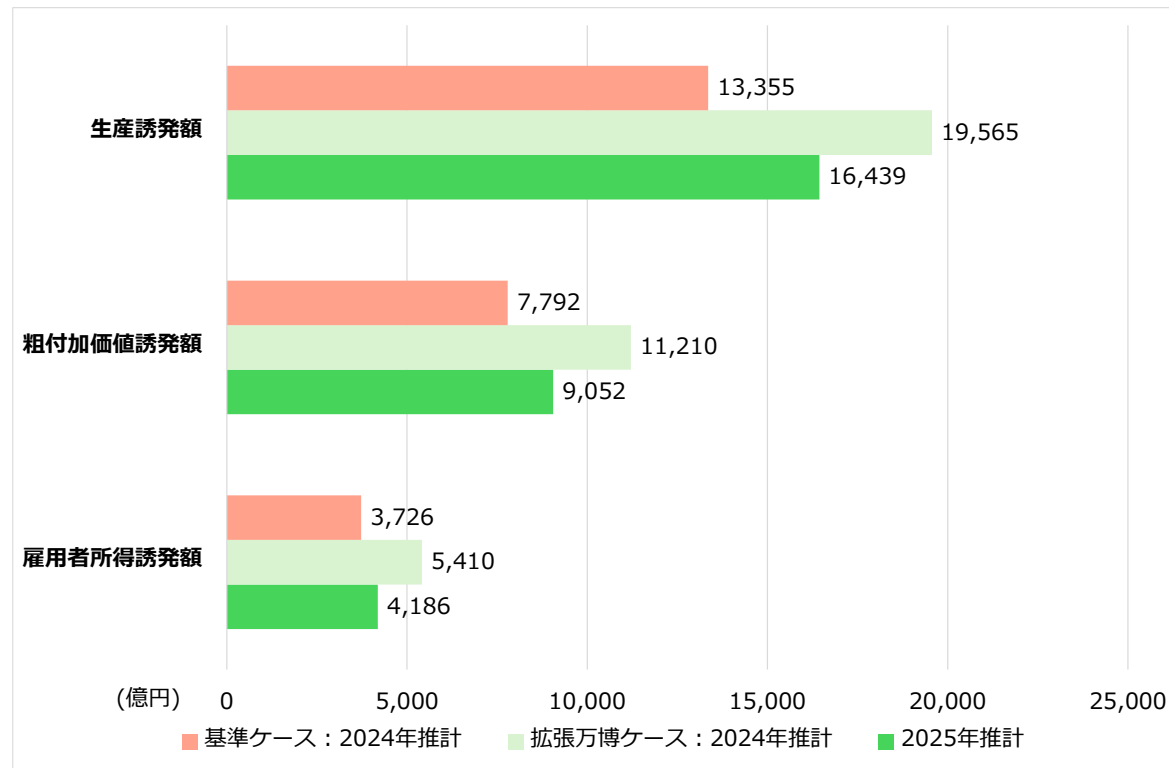
注：2024年推計はTrend Watch No.92にて算出した値

出所：筆者作成

経済波及効果(来場者消費)の推計

- 来場者と関係者の発生需要から推計される**経済波及効果(来場者消費)**は以下の通り
- 2025年推計：
 - 生産誘発額：1兆6,439億円
 - 粗付加価値誘発額：9,052億円
 - 雇用者所得誘発額：4,186億円
- 前回推計(基準ケース)：
 - 生産誘発額：1兆3,355億円
 - 粗付加価値誘発額：7,792億円
 - 雇用者所得誘発額：3,726億円
- 2025年推計の経済波及効果は、基準ケースを上回るものの、拡張万博ケースを下回る
- 今回の万博の経済効果は想定を上回ったが、広域経済圏への経済効果の均霑(大阪府、京都府に効果が集中)という意味では依然課題を残す

【経済波及効果(来場者消費)の比較：2024年推計と25年推計】



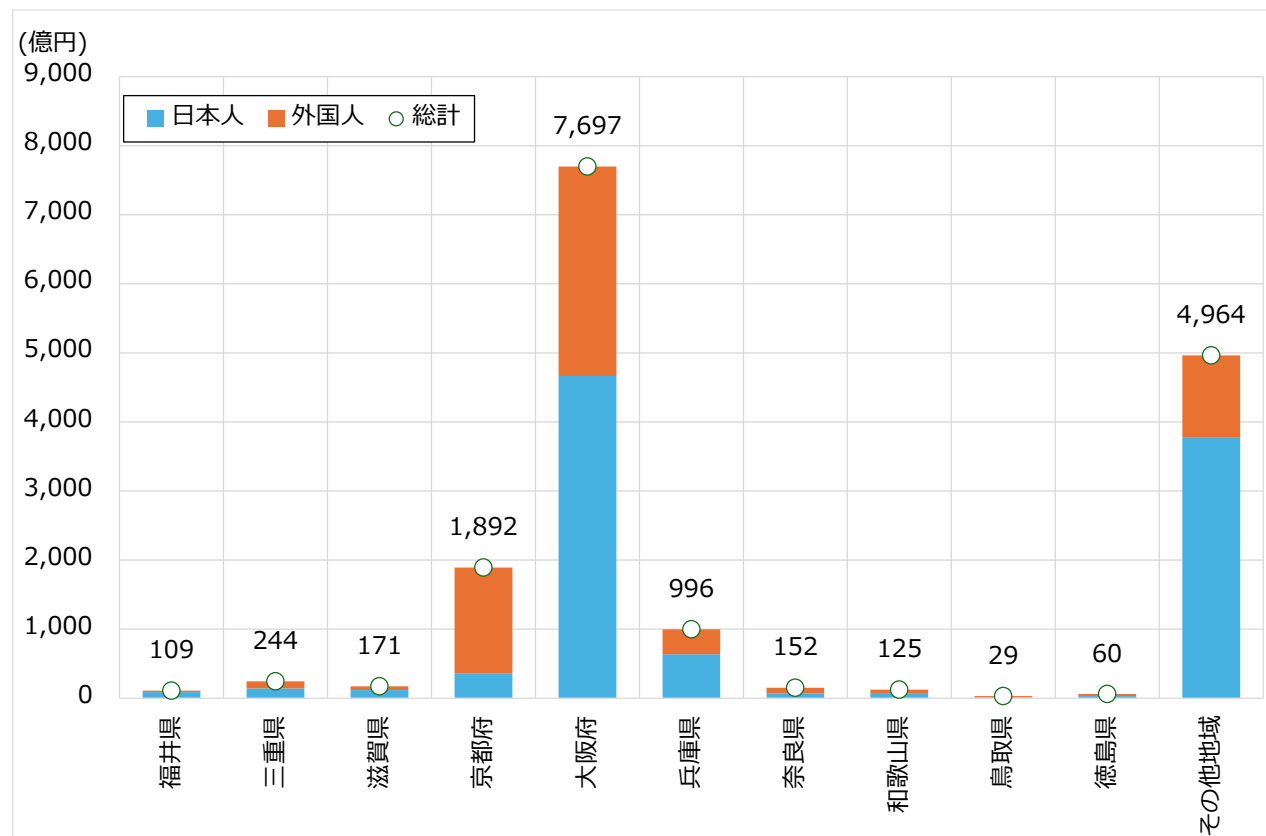
注：拡張万博ケースはTrend Watch No.92で示した拡張万博ケース2*に相当するなお、拡張万博ケース2では、基準ケースに比して国内宿泊客の泊数が1泊増加、海外客の泊数が2泊増加。加えて、国内日帰り客が20%増加するケース

出所：筆者作成

府県別経済波及効果(来場者消費)の推計

- 経済波及効果(来場者消費)を府県別で見れば、
- 生産誘発額1兆6,439億円のうち、大阪府7,697億円、京都府1,892億円、兵庫県996億円、三重県244億円、滋賀県171億円、奈良県152億円、和歌山県125億円、福井県109億円、徳島県60億円、鳥取県29億円発生。なお、その他地域では4,964億円発生
- シェアは2府8県で69.8%、その他地域が30.2%
- 2府8県におけるシェアをみると、大阪府67.1%、京都府16.5%、兵庫県8.7%、三重県2.1%、滋賀県1.5%、奈良県1.3%、和歌山県1.1%、福井県0.9%、徳島県0.5%、鳥取県0.3%

【府県別来場者別経済波及効果(来場者消費)の比較：2025年推計】



出所：筆者作成

詳細な数値についてはAppendix34を参照

府県別来場者別経済波及効果(来場者消費)の比較

- 府県別来場者別経済波及効果を日本人と外国人に分けてみれば、
- 日本人は9,963億円(60.6%)、外国人6,475億円(39.4%)
- 府県別にみれば、日本人シェアが高いのは、福井県(79.7%)、滋賀県(69.1%)と兵庫県(64.0%)
- 外国人シェアが高いのは、京都府(80.9%)、鳥取県(61.8%)と奈良県(54.1%)
- 内外バランスがとれているのは、三重県、大阪府、和歌山県、徳島県

単位：億円、%

	福井県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	その他地域	小計
日本人	87	142	118	362	4,665	637	70	63	11	30	3,779	9,963
外国人	22	102	53	1,530	3,033	359	82	62	18	30	1,184	6,475
総計	109	244	171	1,892	7,697	996	152	125	29	60	4,964	16,439
日本人	79.7	58.1	69.1	19.1	60.6	64.0	45.9	50.1	38.2	50.8	76.1	60.6
外国人	20.3	41.9	30.9	80.9	39.4	36.0	54.1	49.9	61.8	49.2	23.9	39.4

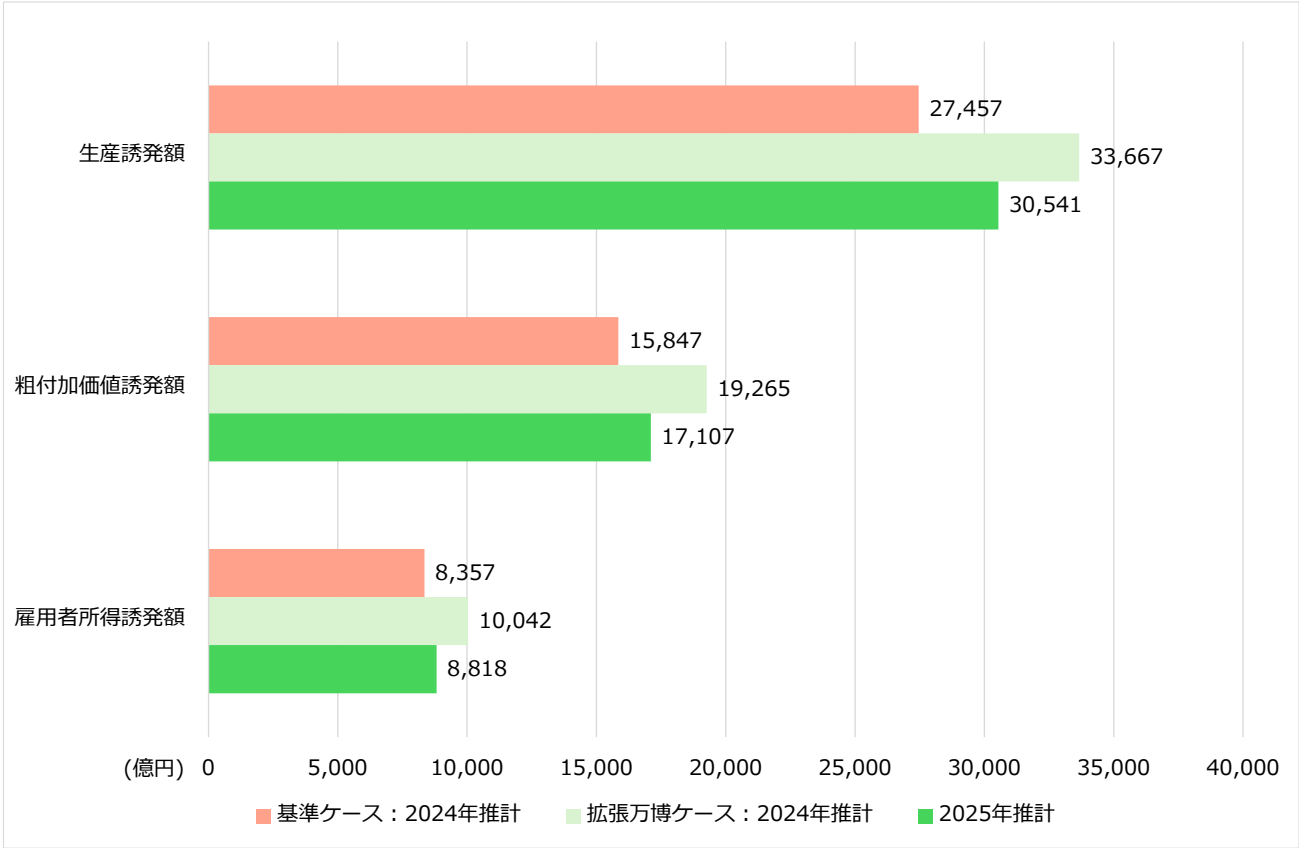
出所：筆者作成

経済波及効果(万博関連事業費+来場者消費)の推計

【経済波及効果の総合効果】

- 今回の来場者消費と前回推計の万博関連事業費の発生需要から推計される経済波及効果は以下の通り
- **2025年推計：**
 - 生産誘発額：3兆541億円
 - 粗付加価値誘発額：1兆7,107億円
 - 雇用者所得誘発額：8,818億円
- **2024年推計：基準ケース**
 - 生産誘発額：2兆7,457億円
 - 粗付加価値誘発額：1兆5,847億円
 - 雇用者所得誘発額：8,357億円

【経済波及効果(万博関連事業費+来場者消費)の比較：前回と今回】



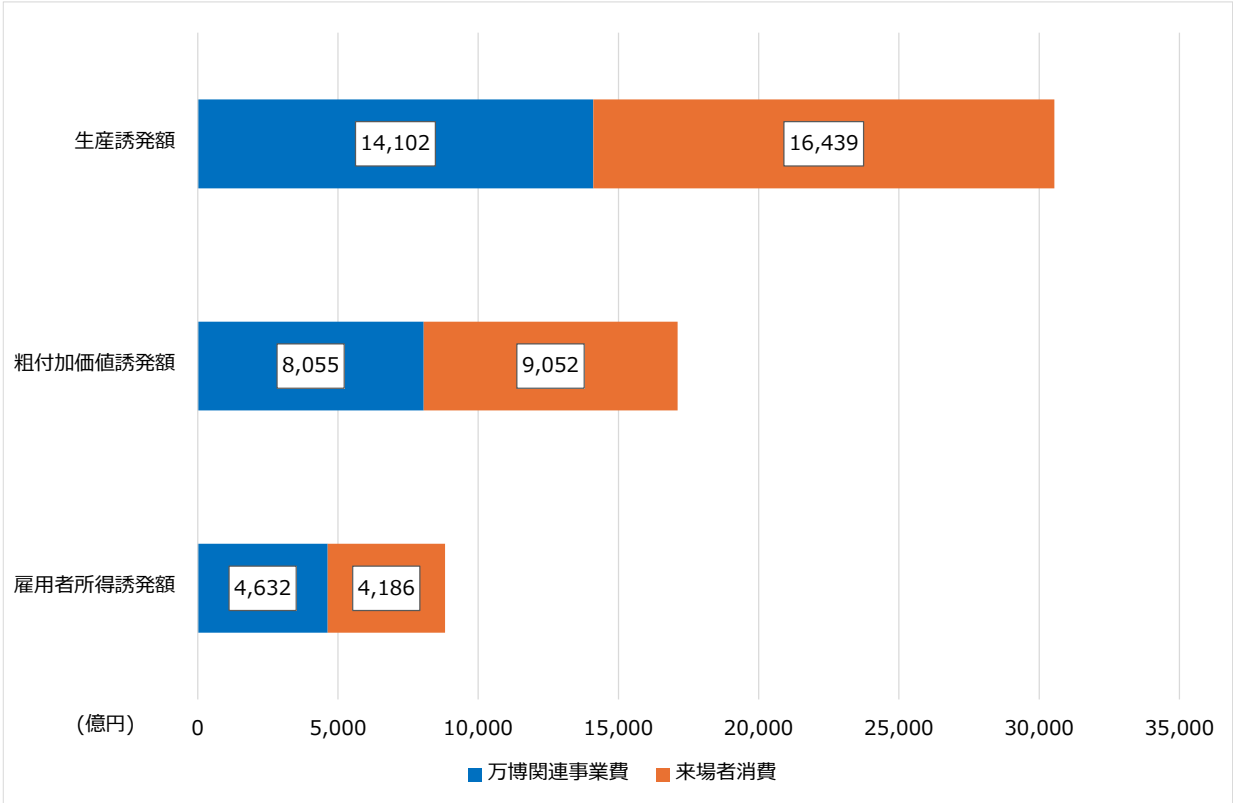
出所：筆者作成

経済波及効果(万博関連事業費+来場者消費)の推計

【経済波及効果の総合効果】

- 経済波及効果の来場者消費と万博関連事業の寄与を見ると
- 万博関連事業費
 - 生産誘発額：1兆4,102億円
 - 粗付加価値額：8,055億円
 - 雇用者所得誘発額：4,632億円
- 来場者消費：
 - 生産誘発額：1兆6,439億円
 - 粗付加価値額：9,052億円
 - 雇用者所得誘発額：4,186億円

【経済波及効果(万博関連事業費+来場者消費)の比較：2025年推計】

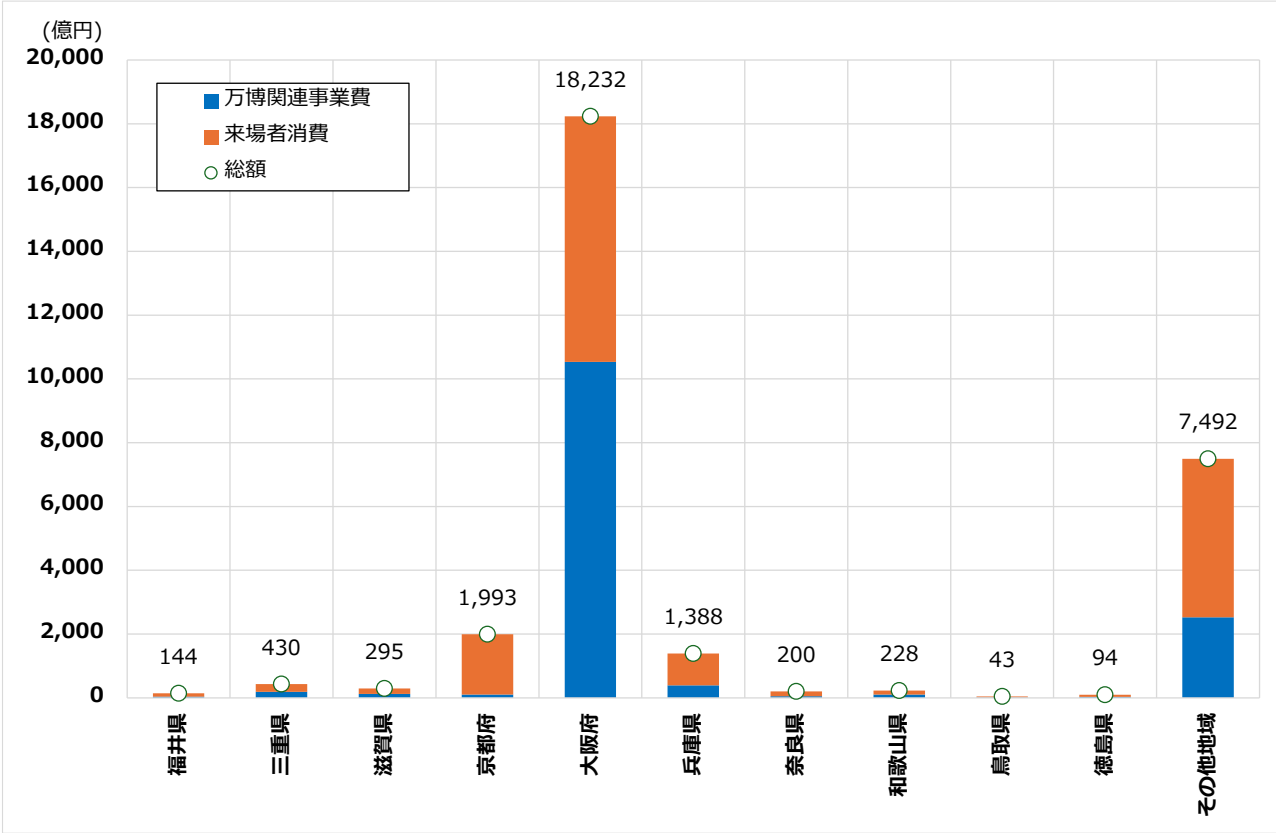


出所：筆者作成

【経済波及効果の総合効果】

- **経済波及効果(生産誘発額)を府県別にみると、**
- 大阪府とその他地域以外の府県では、来場者消費の経済波及効果が大部分を占める
- 一方、**万博関連事業費の経済波及効果**は、大阪府とその他地域で発生
- **来場者消費の経済波及効果**を関西各府県で比較すれば、大阪府、京都府、兵庫県が大きい

【府県別経済波及効果(万博関連事業費+来場者消費)の比較：2025年推計】



出所：筆者作成 詳細な数値についてはAppendix34を参照

はじめに 試算の考え方

1. 来場者数について
2. 消費単価について
3. 発生需要について
4. 発生需要の変換：府県ベース
5. 大阪・関西万博の経済波及効果

おわりに 試算結果の評価

Appendix

評価（１）

1. **来場者数**をみれば、実績(2,558万人)は想定(2,820万人)を下回った。後半に加速がみられたものの、予約システムの制約もあり想定値を実現できなかった。想定来場者と実績の内訳を比較すれば、**関西来場者は想定を上回ったが、関西以外の地域と外国人の来場者は下回った**
2. アンケート調査から算出した**消費単価**をみれば、**会期後半において上昇がみられた**。中でも、**買物代の上昇が顕著**。関西以外の地域からの来場者が後半増加したこともその一因。関西以外在住者の消費支出は家族ベースでは20万円を上回っており、**所得制約下における手ごろな海外旅行の実現**といえよう
3. 来場者と関係者の**発生需要**を試算すると、**2025年推計(1兆404億円)**は**基準ケース(2024年試算：8,913億円)**を上回り、**拡張万博ケース(2024年試算：1兆2,411億円)**に近い結果となった。来場者数は想定に届かなかったが、消費単価の上昇が寄与した

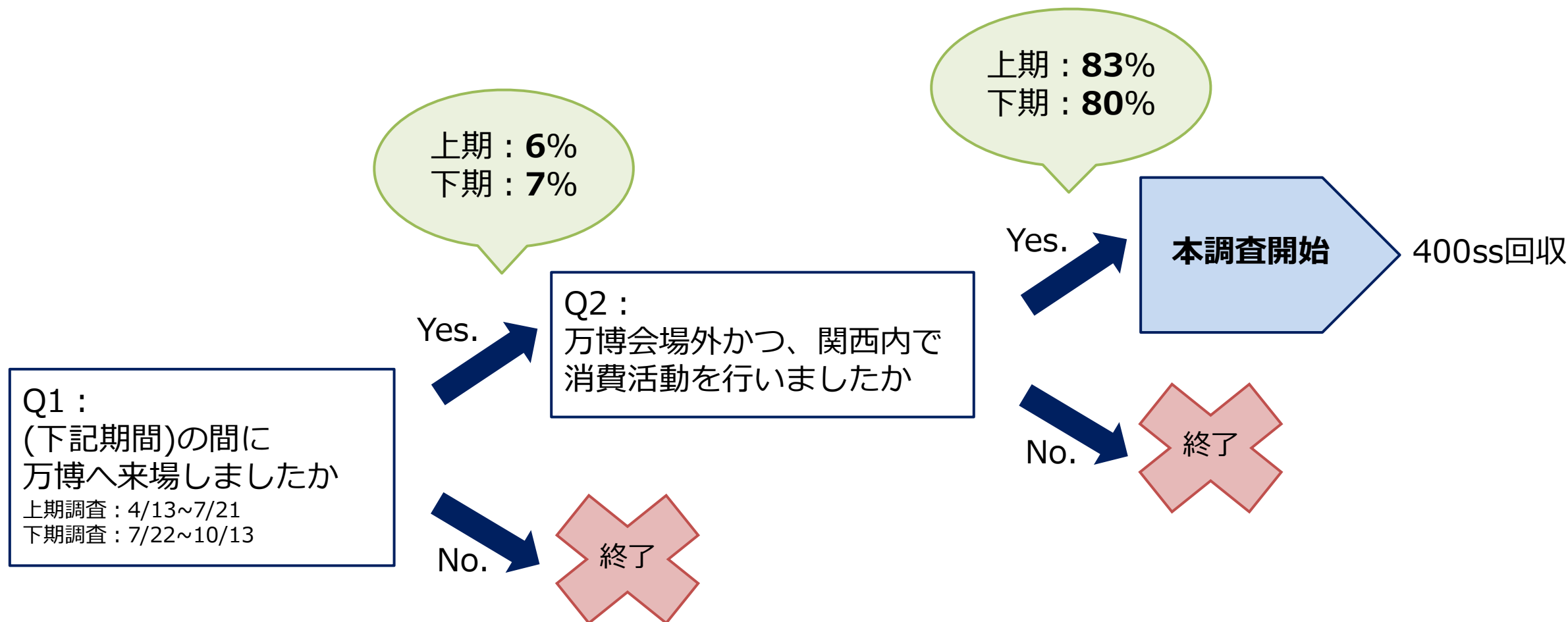
評価 (2)

4. **経済波及効果(来場者消費分)**をみると、**生産誘発額1兆6,439億円、粗付加価値額9,052億円**。結果、万博関連事業費を考慮した**総経済波及効果は生産誘発額3兆541億円、粗付加価値額1兆7,107億円**となる
5. **経済波及効果(1兆6,439億円)**を府県別にみれば、大阪府7,697億円、京都府1,892億円、兵庫県996億円、三重県244億円、滋賀県171億円、奈良県152億円、和歌山県125億円、福井県109億円、徳島県60億円、鳥取県29億円発生。なお、その他地域では4,964億円発生
6. **経済波及効果への寄与を日本人と外国人でみると、日本人9,963億円(60.6%)、外国人6,475億円(39.4%)**。府県別では、福井県、滋賀県と兵庫県は**日本人の寄与が大きく**、京都府、鳥取県と奈良県では**外国人の寄与が大きい**。三重県、大阪府、和歌山県、徳島県は**内外バランス**がとれている
7. 検証から得られる含意としては、万博は経済波及効果の一層の**取り込みに成功**したといえよう。ただし、拡張万博ケースには至らなかったことから、**広域観光については依然課題**が残る
8. 結果、関西経済反転の種はまかれたが、成果を一層確実なものとするためにも今後の広域観光の一層の磨き上げが必要

- 稲田義久・野村亮輔・APIR関西地域間産業連関表プロジェクトチーム(2024), 『大阪・関西万博の経済波及効果-最新データを踏まえた試算と拡張万博の経済効果-』, APIR Trend Watch No.92, 2024年1月24日
- 稲田義久・多田稔子・野村亮輔・松林洋一(2025), 『インバウンドツーリズム-持続可能な発展のメカニズム-』, 中央経済社, 2025年9月19日。
- 公益社団法人2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会(2023), 『大阪・関西万博 来場者輸送 具体方針アクションプラン第3版』, (https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/expo2025_raijyoushayusougutaihousin_03_honpen_231120_240425.pdf, 最終閲覧日: 2025年11月30日), 2023年11月
- 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会(2025), 「2025年10月7日(火) 臨時理事会会議資料」, (https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/20251007_rijikaisiryoku.pdf, 最終閲覧日: 2025年11月30日), 2025年10月7日
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2025), 「2025 年大阪・関西万博の来場者(国内居住・一般来場者)分析～携帯電話位置情報データによる分析～」, (https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2025/11/seiken_251113_01.pdf, 最終閲覧日: 2025年11月30日), 2025年11月13日

Appendix

スクリーニングのフローチャート：日本人調査



アンケート調査の概要

	日本人調査	外国人調査
基本属性	性別・年齢・居住地・職業・婚姻状態・子の有無	性別・年齢・居住地
訪問実態	旅行同行者数・同行者属性・関西訪問地・旅行満足度・推奨度・再来訪意向	入国空港・訪日目的・旅行同行者数・同行者属性・関西訪問地・訪問目的・総宿泊数・関西宿泊数・旅行満足度・満足度の要因・推奨度・再来訪意向
旅行消費	総額・宿泊費・飲食費・買物費・娯楽サービス費 *関西府県別宿泊費・府県別飲食費・府県別買物費・府県別娯楽サービス費(下期のみ)	総額・宿泊費・飲食費・買物費・バック旅行費
万博会場消費	会場内飲食費・会場内買物費	会場内飲食費・会場内買物費
万博関連	来場回数・来場手段・入退場時間・満足度・推奨度・再来訪意向・訪問パビリオン数 *印象に残ったパビリオンとその理由(上期のみ)	来場回数
その他	-	予習度・予習手段・関西認知度・関西イメージ・関西興味度・関西訪問意向・訪日主目的

調査対象者	上期：4月13日から7月21日までの期間で万博に来場し、かつ関西で消費活動をした者 下期：7月22日から10月13日までの期間で万博に来場し、かつ関西で消費活動をした者	関西を訪れたインバウンド客
調査場所	ウェブ上	関西国際空港 大阪・関西万博フェスティバルステーション内 KANSAIブース
調査時期	上期：7月22日から25日 下期：10月14日から16日	関空調査： 7月14-18日、22-24日 8月20-22日 9月22日、24-26日、30日 万博会場調査： 8月6日、15日
調査手法	ウェブアンケート調査	対面でのヒアリング調査
回収サンプル数	上期：400ss 下期：400ss 関西地域：100ss、その他地域：60ss × 5地域	合計1,106ss うち、アジア176ss(15.9%)、 欧米豪807ss(73.0%)、 その他123ss(11.1%)

発生需要：交通費の想定

- **交通費想定：大阪府在住者、関西以外在住者及び外国人**については、JR：大阪-夢洲の往復運賃1,120円、Metro：本町-夢洲の往復運賃760円及びシャトルバスの往復平均運賃2,000円の単純平均で算出。**大阪府以外の関西在住者**については、各府県から移動を考慮し、各府県の主要駅(京都駅、三宮駅、近鉄奈良駅)から夢洲駅までの運賃を単純平均して算出
- **関西以外在住者の交通費**については、1) 東京-新大阪、2) 名古屋-新大阪、3) 広島-新大阪、4) 博多-新大阪の**新幹線料金を考慮し、MURCレポートの関西以外在住者の来場比率を用いて加重平均した20,465円を計上**
- **大阪在住、大阪以外の関西在住**については、**パーク&ライドの料金を計上**。ただし、累計一般来場者に占めるパーク&ライドの利用率は低い
- このため、駐車料金(5,000円)に利用率(8.6%)を乗じた値、486円を1人当たり消費単価として計上

想定区間と新幹線費用

鉄道会社	区間	往復運賃(円)
JR東海	東京－新大阪	29,440
	名古屋-新大阪	11,880
JR西	広島-新大阪	21,900
	博多-新大阪	27,540
出所：筆者作成		20,465

パーク&ライド利用人数と利用率

期間	駐車料金(円)	利用人数
前半(4/13~7/26)	5,500：舞洲 5,000：堺、尼崎	971,985
後半(7/27~10/13)		1,216,950
全期間		2,188,935
来場者総数に占める利用率		8.6%

出所：筆者作成

府県別経済波及効果の比較： 2024年推計と25年推計

単位：億円						単位：%
総効果	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計
福井県	78	359	144	0.3	1.1	0.5
三重県	359	865	430	1.3	2.6	1.4
滋賀県	201	535	295	0.7	1.6	1.0
京都府	242	2,124	1,993	0.9	6.3	6.5
大阪府	20,621	21,069	18,232	75.1	62.6	59.7
兵庫県	722	1,719	1,388	2.6	5.1	4.5
奈良県	76	246	200	0.3	0.7	0.7
和歌山県	192	436	228	0.7	1.3	0.7
鳥取県	32	193	43	0.1	0.6	0.1
徳島県	89	232	94	0.3	0.7	0.3
その他地域	4,846	5,889	7,492	17.6	17.5	24.5
2府4県	22,053	26,129	22,337	80.3	77.6	73.1
2府8県	22,611	27,777	23,049	82.4	82.5	75.5
総計	27,457	33,667	30,541	100.0	100.0	100.0

単位：億円						単位：%
来場者消費	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計	基準ケース： 2024年推計	拡張万博ケース： 2024年推計	2025年推計
福井県	43	323	109	0.3	1.7	0.7
三重県	173	679	244	1.3	3.5	1.5
滋賀県	77	411	171	0.6	2.1	1.0
京都府	141	2,023	1,892	1.1	10.3	11.5
大阪府	10,086	10,534	7,697	75.5	53.8	46.8
兵庫県	330	1,327	996	2.5	6.8	6.1
奈良県	28	197	152	0.2	1.0	0.9
和歌山県	88	332	125	0.7	1.7	0.8
鳥取県	18	179	29	0.1	0.9	0.2
徳島県	55	198	60	0.4	1.0	0.4
その他地域	2,318	3,361	4,964	17.4	17.2	30.2
2府4県	10,749	14,824	11,033	39.1	44.0	36.1
2府8県	11,037	16,204	11,475	40.2	48.1	37.6
総計	13,355	19,565	16,439	100.0	100.0	100.0

出所：筆者作成